

二〇一九年七月号からの規定課題

同王徴君洞庭有懷

張謂

八月洞庭秋

八月 洞庭の秋

瀟湘水北流

瀟湘水 北へ流る

還家萬里夢

家に還る万里の夢

爲客五更愁

客と為る五更の愁い

不用開書帙

用いず書帙を開くを

偏宜上酒樓

偏宜に宜し 酒樓に上るに

故人京洛滿

故人 京洛に滿つ

何日復同遊

何れの日か 復た同遊せん

通訳

八月になり洞庭湖も秋を迎えている。

瀟湘の川の水は北に向かつて流れてゆく。

故郷は万里の彼方であつて、夢の中だけで帰ることができる。

しかし明け方に目が覚めると、旅人の身であることを痛感しもの思いにひびけてしまふ。

こんな時には書物を読んだり、無用なことだ。

居酒屋で一杯やるのが一番よい。

旧友は故郷の洛陽に大勢いるが、

いつになったらまた、いつしよに遊ぶことができるだろうか。